



上海事務所

NCB 海外レポート

中国体験記 Vol.2

～中国ベーカリー市場編～

◇ はじめに

- ・ ダージャーハウス 大家好（皆さん、こんにちは）！ 中国と聞いてパンをイメージされる方は少ないように想像しますが、近年、中国ではベーカリーへの関心が高まっており、市場規模は拡大を続けています。今回は、中国におけるベーカリー市場についてご紹介します。

◇ 成長を続けるベーカリー市場

- ・ 中国独自のパンを販売する大手チェーン店を中心に、近年は欧州や日本風のパンを扱うベーカリーが増加し、食パン、ベーグル等の専門店も誕生するなど、消費者のパンの好みは多様化しています。
- ・ 市場規模に目を向けると、中国におけるベーカリー専門店市場は、コロナ禍に一時的に落ち込んだものの、2024年には前年比5.2%増となる1,105億元（約2.6兆円）規模まで成長を続けています¹²。2025年も継続した市場規模の拡大が見込まれ、今後の成長が期待される市場として注目されています。
- ・ 中国のSNSでは、若年層を中心に「ミューンバオナオダイ 面包脑袋」（パン脳：パン好きの人を指す）という言葉も生まれており、パンを愛する人々向けのイベントも開催されています。またパンの種類やおすすめベーカリーを紹介する専門アカウントも増加しており、中国におけるパンの人気はますます高まっています。



上海に店舗を構える中国のベーカリーチェーン店（当事務所撮影）

◇ コーヒーブームとの相乗効果

- ・ 以前、当事務所のレポートでもご紹介した「コーヒー市場」も中国で急速に成長しており、消費者の間ではパンとコーヒーを組み合わせたスタイルが広がるなど、若者から年配の方まで、中国の食生活の変化が感じられます。

◇ まとめ

- ・ このように、中国におけるベーカリー市場は拡大が続いており、山崎製パンをはじめとした日本企業も上海に店舗を構えるなど、人気を博しています。
- ・ 変化が激しいと言われる中国ですが、食に関しても同様で、日々新たな店舗や商品が生まれています。中国を訪れる際には、新たな発見を求め、その時の旬のベーカリーとの出会いを楽しんでみてはいかがでしょうか。

ザイチエン

再見（またお会いしましょう）！



福岡の方にお馴染みのパンも味わうことができます。（当事務所撮影）

2026年5月20日作成
西日本シティ銀行 上海駐在員事務所

¹ 出所：烘焙品类发展报告 2025

² 日本国内のパン市場規模は約1兆6,629億円（2023年度、株式会社矢野経済研究所調べ）